

平成21年度 第1回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成21年6月15日(月) 国土交通省低層棟共用会議室2A	
委員	委員長 長谷川 俊明(弁護士) 委員 浅野 正一郎(国立情報学研究所教授) 委員 轟 朝幸(日本大学理工学部教授)	
審議対象期間	平成20年10月1日～平成21年3月31日	
抽出案件	総件数 3件	
工事	一般競争	1件
	工事希望型競争	0件(対象案件なし)
	通常指名競争	0件(対象案件なし)
	随意契約	0件(対象案件なし)
建設コンサルタント業務等	1件	
役務及び物品	1件	
地方官署	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問（委員）	回答（航空局）
<p>抽出案件の審議</p> <p>[工事] 一般競争（政府調達に関する協定適用外） 【東京航空交通管制部 I E C S - 0 5 型 新航空路管制卓整備その他工事】</p> <p>○総合評価の技術提案に係る評価の判定基準は、事前に設定するのか。</p> <p>○最低価格の入札書が無効になっているが、無効となった理由について、公表しているのか。</p> <p>○低入札価格調査において、調査資料を提出しなかったことが無効となった原因であるが、未提出の理由について、調査する必要があるのではないか。</p> <p>[建設コンサルタント業務等] 簡易公募型プロポーザル方式 【航空保安用機械施設に関する技術検討業務委託】</p> <p>○プロポーザル方式により発注した理由はなにか。</p>	<p>○事前に V E 審査委員会で判断基準を設定し、技術提案書及びヒアリングにより、V E 審査委員会が評価しています。</p> <p>○最低価格入札書が無効となったことについては公表しておりますが、理由については公表しておりません。</p> <p>○当該案件については、資料を提出しなかった理由について確認しておりませんが、今後、検証することとしたい。</p> <p>○最新の技術基準、省 C O 2 対策等の高度な技術検討が必要であるため、プロポーザル方式により発注したものです。</p>

意見・質問（委員）	回答（航空局）
<p>○当該業務を受注したコンサルタント業者は、その後の設計業務の入札に参加できるか。</p> <p>○技術提案書の評価基準において、業務の守秘性に係る規則制定を評価しているが、情報管理責任者を配置していることも評価の対象としてはどうか。</p> <p>[役務及び物品] 一般競争 【平成20年度航空交通情報ワンストップサービス基本要件調査】</p> <p>○履行期間が短いように思われるが、履行できる業者が限定され、競争性が阻害されていることはないか。</p>	<p>○検討業務に関与したことにより競争上の不公正な利点を享受する場合については、設計業務の入札に参加することはできませんが、当該業務では、改定内容の分析等に留まり、設計要領及び共通仕様書の改訂版作成は、航空局が行うこととしているため、当該受注者の設計業務入札参加を規制しておりません。</p> <p>○検討いたします。</p> <p>○他の調査を活用するため、期間内での履行は可能です。また、同様の調査を専門にしているコンサルタント業者もあり、競争性は確保されております。</p>

